

# 公同礼拝

2025年1月5日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 高橋和人

奏楽 河野和雄 長谷川ゆり子(夕)

前 奏

招 詞 イザヤ書 65章17, 18節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

出エジプト記 30章22～30節(旧145)

マタイによる福音書26章1～16節(新51)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 7

説 教 「メシアの香り」 牧師 高橋和人

祈 禱

讃 美 歌 411

聖 餐 式

献 金

頌 栄 543

祝 禱

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

## 1月の祈り

新しい年を迎え、主の恩寵と自分の歩みを回顧

し、悔い改めと赦しに生きることができるよう。

教会の全ての働きが、主の導きによって導かれ、  
整えられ、伝道が力づけられるように。

戦火や被災地にある人々と教会、伝道者・信徒が  
支えられ、教会の回復が支えられるように。争いの  
地に平和がもたらされるように。

高齢で、また、体調などにより礼拝に集うことが  
かなわないでいる兄弟姉妹たちを覚えて。

## 今日の祈り

能登半島地震から一年を経てなお困難な中にある  
被災地と教会が守られ回復が力づけられるように。

これまでの歩みを振り返り、主の恵みと導きを思  
い起こし、信仰を新たにし、新たな命の恵みに歩み  
出すことが出来るように。

主にある平和を求める祈りが力づけられ、戦火が  
止むように。悲しみと痛みが和らげられるように。  
病を負う人たちに回復が与えられるように。

「メシアの香り」 高橋和人

マタイによる福音書26章1～16節

キリスト者の歩みは主イエスの生涯に裏付けられ  
ている。主の生涯を受け止めることは、信仰者の生  
き方を明らかにする。主の生涯は、誕生と受難に重  
みがある。特に受難記事は福音書全てに丁寧に記さ  
れている。

一人の女性。主は福音が宣べ伝えられるところ、  
記念として語られ、わたしに良いことをしてくれた  
と言われる。「良い」「美しい」と訳される。

「人の子は十字架に付けられるために引き渡され

る。」と言われていた。福音書は三枚の絵のように描  
く。この場面は暗い二枚の絵に挟まれている。

まず、計略を用いてイエスを捕え殺そうという祭  
司長や律法学者たち。秀でた人々。そこには深い闇  
があった。は人の輝きになる。そこに闇もある。

次は、重い皮膚病の人シモンの家。彼女は極めて  
高価な香油の入った石膏の壺を持って近寄り、食事  
の席の主イエスの頭にその香油を注ぎかける。その  
価値は300デナリ以上。彼女の最も大切なもの。

その香りは部屋に広がり包み込む。弟子たちは「な  
ぜこんな無駄使いをするのか」、「高く売って貧しい  
人々に施すことができる。」と憤慨する。香油の香り  
は人助けへの金額へと換算された。それは批判のた  
めの批判だ。美しい香りの中で彼らはその香りの意  
味を知ることができない。

主は「わたしの葬りの準備をしてくれた。」といわ  
れた。主イエスの死と葬りはこの女性の奉げた香油  
にふさわしい。

三番目の場面でユダと祭司長たちは主イエスを銀  
貨三十枚に値踏みした。主イエスを換算したことで  
自分を換算した。

香油の香りはその廻りにある闇を明らかにした。  
主イエスは彼女のしたことの美しさと光を明らかに  
した。神が主イエスを十字架の死に渡し、罪人の救  
いとされたことを換算するなら神の全くの無駄使い  
となる。神が人を愛するあまりにイエス・キリスト  
を死と葬りとにゆだねられた。それは、あきれかえ  
るほどの無駄使いだ。救われるためにはまさにこの  
無駄使いがなければならない。

信仰者の歩みはこれほどの恵みに裏付けられてい  
る。光と闇の交錯する世にあって、キリストはわれ  
らのため御自分を香りの献げものとなられた。